

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 02 B 7/26

識別記号 庁内整理番号  
6418-2H

⑯ 公開 昭和59年(1984)6月27日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑰ 光ファイバコネクタ

9号旭光工業株式会社内

⑱ 出 願 人 旭光工業株式会社

⑲ 実 願 昭57-189365

東京都板橋区前野町2丁目36番  
9号

⑳ 出 願 昭57(1982)12月15日

㉑ 代 理 人 弁理士 三浦邦夫

㉒ 考 案 者 津田浩二

東京都板橋区前野町2丁目36番

㉓ 実用新案登録請求の範囲

(1) コネクタ外筒; このコネクタ外筒内に嵌入される一対のコネクタ内筒; この一対のコネクタ内筒の軸孔の先端から接続端面側に向けて徐々に径を縮小させて形成したテーパ孔; 光ファイバを保持し上記コネクタ内筒の軸孔に進退可能に挿入される光ファイバ保持筒; および上記コネクタ内筒のテーパ孔のテーパに対応する外側テーパと、接続すべき光ファイバの端部を嵌入させる軸部V溝とを有する、二以上に分割された載頭円錐体からなる光ファイバ挟着部材を備え、この光ファイバ挟着部材は、上記一対のコネクタ内筒のテーパ孔内にそれぞれ挿入され、それぞれ上記光ファイバ保持筒により光ファイバの接続端面側に押圧されることを特徴とする光ファイバコネクタ。

光ファイバ挟着部材の軸部V溝の後端部には、光ファイバの接続端部の挿入を容易にする拡張テーパ部が形成されている光ファイバコネクタ。

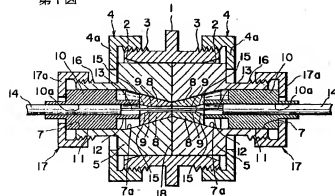
図面の簡単な説明

第1図は本考案の光ファイバコネクタの実施例を示す接続状態の縦断面図、第2図は組立状態の一対の光ファイバ挟着部材の斜視図、第3図は同正面図、第4図は光ファイバ挟着部材の単体の斜視図、第5図は光ファイバ挟着部材の他の実施例を示す斜視図である。

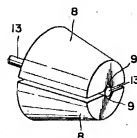
1……コネクタ外筒、4……締結環、5……コネクタ内筒、7……軸孔、7a……テーパ孔、8……光ファイバ挟着部材、9……V溝、10……光ファイバ保持筒、13……光ファイバ、14……光ファイバ保護被覆、17……第二締結環、18……接続端面。

(2) 実用新案登録請求の範囲第1項において、光

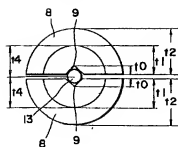
第1図



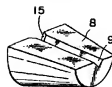
第2図



第3図



第4図



第5図

